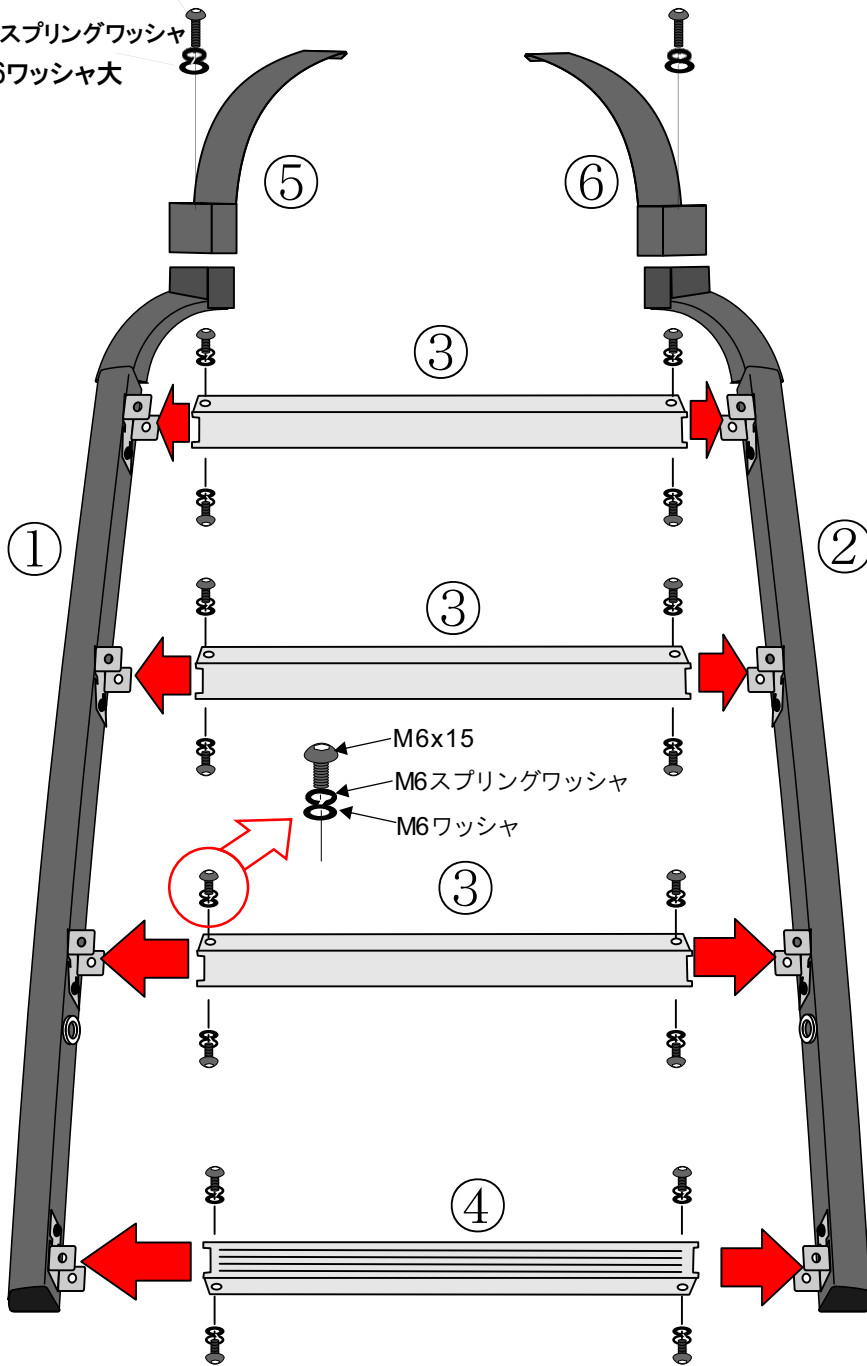


BUSTERS

OUTDOOR

長いM6ボルト

M6スプリングワッシャ
M6ワッシャ大



組み立て

①と②のメインフレームはすでに組み立ててあります。①のフレームのステーに、③の踏み板の滑り止めを上面に差し込み前と後ろからM6のボルトセットで仮固定する

④の踏み板は滑り止め面を上にし切り欠きが下面になるようにして同じく仮固定する

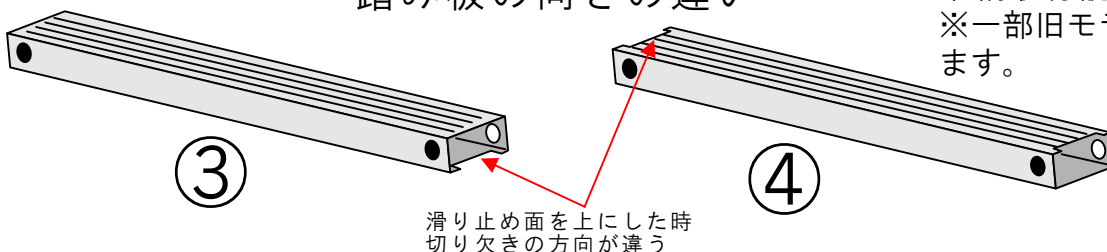
次に反対側の②に踏み板を差し込み、同じように仮固定し、全体のガタがない事を確認し、すべてのネジを本締めする

⑤と⑥の方向に気を付けて図の様に差し込み、長いM6ボルトをスプリングワッシャとワッシャ大を介して、メインフレームの一番上に1cm以上の余裕をみてぶらぶらの状態で仮固定する

以上で本体の組上げ完成です。



踏み板の向きの違い



滑り止め面を上にした時
切り欠きの方向が違う

車輛取付説明はYouTubeで
※一部旧モデルの説明があります。

内容物の確認

- メインフレーム左右①×1②×1
- 踏板③×3 ④×1
- アッパーフックブラケット⑤×1⑥×1
- ロアナンバーブラケット×1
- 当て紙左右各1枚
- プロテクションフィルム×1シート



組立取付はYouTubeで解説しています。
必ずご確認ください。

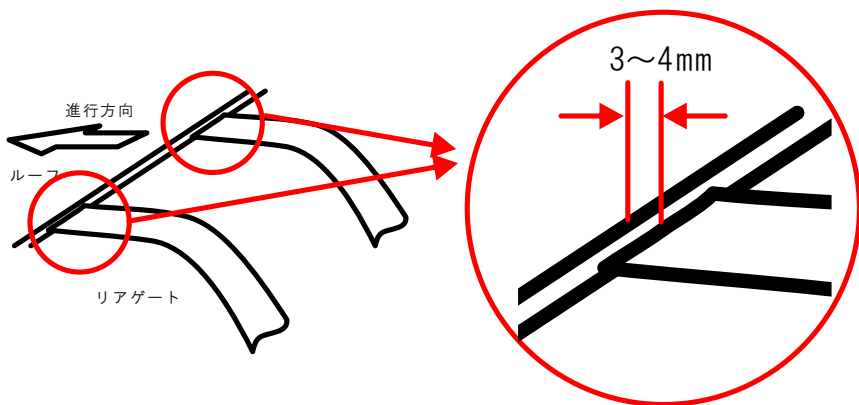
ネジ類

- 1の袋（メインフレーム踏板取付用）
- M6×15内六角ボルト×16
- M6スプリングワッシャ×16
- M6ワッシャ×16

- 2の袋（アッパーフックブラケット取付用）
- M6×25内六角長ボルト×2
- M6スプリングワッシャ×2
- M6ワッシャ大×2

- 3の袋
- M8×20内六角ボルト×2
- M8スプリングワッシャ×2
- M8ワッシャ×2
- ロアブラケット（ナンバーステー）
- 下側用6×20タッピングビス×2

【重要】リアゲートとアッパーフックブラケットのスキマについて



手順通りにリアラダーを装着したら、アッパーブラケットとルーフの隙間を確認します。

D:5はこの部分の年式による車両個体差がかなりありますので、必ず確認をお願いします。

いきなりリアゲートを開けずに、ブラケットとルーフの後端が一番近くなる位置までリアゲートをあげていただき、スキマを確認してください。3~4mm程のスキマが確認出来ればOKですが、スキマが極端に狭い場合や、接触する場合は、リアゲート内側のヒンジボルトを少しずつ均等に緩めてください。リアゲートを開けた状態でボルトを緩めると、リアゲートの自重で隙間が開く方向に動きます。くれぐれも開きすぎない程度に調整して下さい。

